

Ⅱ. 事業の概要

【事業計画の進捗・達成状況ならびに主な教育・研究概要】

1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）

- (1) 海外研修
- (2) 国内研修
- (3) 招聘教授
- (4) 芸術特別研究

2. 演奏会関係

- (1) 演奏会
- (2) テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ活動報告
- (3) 公開講座

3. 研究所関係

- (1) オペラ研究所
- (2) バレエ研究所
- (3) 舞台芸術政策研究所
- (4) 歌曲研究所
- (5) アートマネジメント研究所
- (6) 音楽療法研究所
- (7) 音楽教育研究所
- (8) ピリオド音楽研究所

4. 事業運営部関係

- (1) 附属音楽・バレエ教室
- (2) パスウェイズ
- (3) 附属ピアノアートアカデミー
- (4) ストリングスアカデミー運営室

5. 2024 年度入学試験報告

【中長期計画】

- 学校法人東成学園中長期計画 2020-2024 2023 年度進捗報告
- 財務に関する中長期計画の報告

1. 教学関係

(1)海外研修

1. イタリア研修(必修・選択)

日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等の向上を目的として実施している。

2023(令和5)年度はコロナ禍明け、実に5年ぶりに研修を実施した。

科目名、研修名	2023(令和5)年度 実績	参加人数
海外研修Ⅰ(必修)		
長期A団(ピアノ)	2024年2月5日(月)～2月19日(月)	15名
長期B団(声楽)	2024年3月6日(水)～3月22日(金)	28名
海外研修Ⅱ(学短選択)		
海外特別研修①(院選択)		
ヨーロッパ実技	2024年2月22日(金)～3月2日(土)	23名
海外研修Ⅳ(選択)		
ヨーロッパ見学	最少催行人数に達しなかったため実施せず	—

2. アートマネジメント・舞台スタッフ研修(選択)

アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目「海外研修Ⅱ」として、また、大学院修士課程の「海外特別研修①②」として合同で実施している。イギリス、イタリアの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、現地の舞台関係者による特別講義を実施している。

2023(令和5)年度は、物価高や為替相場、燃油の影響もあり、渡航費が高騰しているため、イギリスのみで7日間実施。

実施期間:2024年3月11日(月)～3月17日(日)

参加人数:18名

3. バレエロンドン研修(選択)

大学・短大のバレエコース合同で選択科目「海外研修Ⅱ」として開講し、ロンドンにて劇場見学、RAD(Royal Academy of Dance)にて現地講師によるバレエレッスンを中心に実施している。

実施期間:2024年2月23日(金)～3月5日(火)

参加人数:15名

4. ミュージカル実技研修(選択)

「海外研修Ⅱ」として開講し、ニューヨークの市内見学、ミュージカル鑑賞、BDC(ブロードウェイダンスセンター)でのダンスレッスンとヴォーカルワークショップを中心に実施している。

2023(令和5)年度は、「ニューヨーク見学研修」と一緒に実施。

実施期間:2024年2月26日(月)～3月7日(木)

参加人数:18名

5. ニューヨーク見学研修(選択)

「海外研修Ⅱ」として開講し、ミュージカル実技研修と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施している。

実施期間:2024年2月26日(月)～3月7日(木)

参加人数:7名

(2)国内研修

1. 英語研修(必修・選択)

アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコース必修科目として実施している。2023年度から全学的に短大1年次、学部2年次～選択科目としても開講。

2022(令和4)年度に続き、2023(令和5)年度は福島県における語学研修施設(ブリティッシュヒルズ)での研修を実施した。

実施期間:2024年3月1日(金)～3月4日(月)

参加人数:33名

(3)海外 招 聘 指 導 者

2023(令和5)年度 招聘指導者実績

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. コリン・ウィリアムズ(トロンボーン) | |
| 公開レッスン・ミニコンサート | 5 月 9 日 |
| 2. シルヴィア・カレドゥ(フルート) | |
| 公開レッスン・ミニコンサート | 5 月 17 日 |
| 3. ラーシュ・ヤンソン(ジャズピアニスト) | |
| ワークショップ | 5 月 22 日 |
| 4. コカ・ガルシア(サクソ) | |
| 公開レッスン・ミニコンサート | 5 月 24 日 |
| 5. ユージン・ミリアロ・コーポロン(指揮) | |
| 吹奏楽定期演奏会指揮および吹奏楽指導 | 5 月 28 日～6 月 4 日 |
| 6. パリ管弦楽団金管五重奏団 | |
| 公開講座・ミニコンサート | 6 月 25 日 |
| 7. ジョン・オコーナー(ピアノ) | |
| 個人レッスン・公開講座 | 7 月 11 日～7 月 24 日 |
| 8. ネリ・コイチェヴァ(声楽) コントラアルト | |
| 公開講座と公開レッスン | 10 月 19 日 |
| 9. マリア・ピーア・ピシテッリ(声楽)ソプラノ | |
| 個人レッスン | 2 月 14 日～2 月 21 日 |
| 10. アレッサンドロ・カルボナーレ(クラリネット) | |
| 公開レッスン・ミニコンサート | 2 月 15 日 |

(4) 2023年度「芸術特別研究」指定公演一覧

【分野区分】 A:音楽公演 B:舞台公演 C:日本古典芸能公演

日程	曜日	開演時間	名称	会場	分野
4月8日	土	14:00	アルテリッカ・プレ 2023若きアーティストたちの響演～昭和音楽大学同侪会とともに～	ユリホール	A
4月9日	日	13:00/17:00	アルテリッカ・プレ 2023若きアーティストたちの響演ミュージカル・スプリング・ライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	スタジオ・リリエ	A
4月16日	日	14:00	アルテリッカ・プレ 2023若きアーティストたちの響演ジャズ・ポピュラーライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	新百合21ホール	A
4月22日	土	14:00	アルテリッカ・オープニング公演 藤原歌劇団公演「劇場のわがままな歌手たち」	ジーリオ	B
4月23日	日	14:00	アルテリッカ・オープニング公演 藤原歌劇団公演「劇場のわがままな歌手たち」	ジーリオ	B
4月29日	土・祝	16:00	アルテリッカ 昭和音楽大学音楽芸術運営学科アートマ企画制作演習企画公演Vol.1 TROMBONE FOR TWO ～J&K トリビュート～	ユリホール	A
5月3日	水・祝	14:00	アルテリッカ 優雅な弦の響き・ハープ&弦楽四重奏の世界	ユリホール	A
5月6日	土	14:00	アルテリッカ トリオ・リベルタ コンサート 石田泰尚(ヴァイオリン)、中岡太志(ピアノ)、松原孝政(サクソフォン)	ジーリオ	A
5月6日	土	18:00	アルテリッカ Standards on Jazz ～秋田慎治と仲間たち～	新百合21ホール	A
5月7日	日	15:00	アルテリッカ 東京交響楽団～爽やかグリーンコンサート～小林研一郎(指揮)、黒木雪音(ピアノ)	ジーリオ	A
5月7日	日	18:00	アルテリッカ 中崎英也ヒット作品の世界～日本のポップスから演歌まで	新百合21ホール	A
5月13日	土	14:00	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	ジーリオ	B
5月14日	日	14:00	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	ジーリオ	B
5月25日	木	18:30	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内発表会 ①	ジーリオ	A
6月3日	土	14:00	昭和ウインド・シンフォニー第24回定期演奏会	ジーリオ	A
6月3日	土	14:30	歌舞伎(日本伝統音楽演習との乗入れ)	国立劇場	C
6月4日	日	14:30	歌舞伎(日本伝統音楽演習との乗入れ)	国立劇場	C
6月8日	木	18:20	作曲作品発表①	ユリホール	A
6月8日	木	18:30	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内発表会 ②	ジーリオ	A
6月15日	火	18:30	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内発表会 ③	ジーリオ	A
6月23日	金	19:00	しんゆりジャズスクエア	川崎市アートセンター	A
6月24日	土	15:00	室内合奏団第13回定期演奏会	ユリホール	A
6月24日	土	14:00	しんゆり寄席	川崎市アートセンター	C
6月25日	日	14:00	吹奏楽団特別演奏会(ウインド・オーケストラ)	ジーリオ	A
6月27日	火	18:20	推薦演奏会①	ユリホール	A
7月4日	火	18:20	推薦演奏会②	ユリホール	A
7月15日	土	14:00	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第27回定期演奏会	ジーリオ	A

日程	曜日	開演時間	名称	会場	分野
7月16日	日	15:00	Shakespeare and Songs: Shakespeare, the Cosmos 『Vice and Dotage ― 結局、家族の問題。』	C101教室	A
9月19日	火	18:10	雅楽(日本伝統音楽演習との乗り入れ)	ユリホール	C
9月22日	金	19:00	しんゆりジャズスクエア	川崎市アートセンター	A
9月28日	木	18:20	教員・研究員研究発表②	ユリホール	A
10月7日	土	14:00	大学オペラ公演2023《愛の妙薬》	ジーリオ	B
10月8日	日	14:00	大学オペラ公演2023《愛の妙薬》	ジーリオ	B
10月10日	火	18:20	推薦演奏会③	ユリホール	A
10月18日	水	18:10	室内楽定期演奏会	ユリホール	A
10月19日	木	18:30	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内発表会 ④	ジーリオ	A
10月21日	土	14:00	しんゆり寄席	川崎市アートセンター	C
10月24日	火	17:00	学長賞声楽コンクール(本選)	ジーリオ	A
10月28日	土	14:00	第30回コンチェルト定期演奏会①	ジーリオ	A
10月29日	日	15:00	学長裁量経費講座第2シーズン第2回レクチャーコンサート 『What Is To Be?―存在するとはどういうことか?』	C511	A
10月31日	火	18:30	「花言葉の旋律～木簡五重奏で紡ぐ想い～」	ユリホール	A
11月9日	木	18:20	作曲コンクール	ユリホール	A
11月10日	金	19:00	しんゆりジャズスクエア	川崎市アートセンター	A
11月11日	土	14:00	第30回コンチェルト定期演奏会②	ジーリオ	A
11月14日	火	18:20	第12回アンサンブルコンクール	ユリホール	A
11月16日	水	18:20	教員・研究員研究発表③	ユリホール	A
11月25日	土	14:00	昭和音楽大学管弦楽団第42回定期演奏会	ジーリオ	A
11月26日	日	15:00	音大オーケストラ・フェスティバル	ミューザ川崎	A
11月30日	木	18:30	「夜奏のアトリエ～カルテットで奏でるゴッホの光彩」	ユリホール	A
12月3日	日	14:00	昭和音楽大学吹奏楽団第37回定期演奏会	ジーリオ	A
12月5日	火	18:10	ウインドシンフォニーコース実習発表会	ジーリオ	A
12月7日	木	18:30	第21回電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A
12月16日	土	15:00	第48回メサイア	ジーリオ	A
12月24日	日	12:00 17:00	ミュージカル・舞台スタッフ卒業公演	ジーリオ	B
12月28日	木	15:00	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第九演奏会	ジーリオ	A

2. 演奏会関係

(1)演奏会

2023年度実績

月日	曜日	名称	会場	来場者数
4月1日	土	令和5年度 入学式奏楽・祝賀演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	式典 関係者
4月8日	土	2023若きアーティストたちの響演 (アルテリッカプレイベント)	ユリホール	同侪会主催
4月9日	日	2023若きアーティストたちの響演 ミュージカル・スプリング・ライブ(アルテリッカプレイベント)	スタジオ・リリエ	同侪会主催
4月16日	日	2023若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポピュラーライブ(アルテリッカプレイベント)	新百合トウェンティワンホール	同侪会主催
5月13日	土	昭和音楽大学×ソウル市立大学校 日韓交流コンサート	ユリホール	147
6月3日	土	昭和ウインド・シンフォニー第24回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	418
6月8日	木	第27回作曲作品発表 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	44
6月24日	土	室内合奏団第13回定期演奏会	ユリホール	226
6月25日	日	吹奏楽団第1回ファミリー定期演奏会 (2部制 =①11:00/②14:00)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①681 ②731
6月27日	火	令和5年度 第1回推薦演奏会	ユリホール	153
6月29日	木	教員・研究員研究発表④ ※出演希望なく取りやめ	ユリホール	—
7月2日	日	学部ミュージカルコース(3年)前期成果発表 「Sparkling Time!」(2回公演)	スタジオ・リリエ	①135 ②97
7月4日	火	令和5年度 第2回推薦演奏会	ユリホール	197
7月16日	日	学部ミュージカルコース(4年)前期成果発表 「boy be...」(2回公演)	スタジオ・リリエ	①182 ②165
8月3日	木	短大バレエコース(1, 2年)前期成果発表	スタジオ・リリエ	102
8月7日	月	フェスタ・サマーミュージザKAWASAKI2023 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
9月28日	木	教員・研究員研究発表②	ユリホール	90
10月7日	土	大学オペラ公演2023《愛の妙薬》 文化庁 令和5年度 大学における文化芸術推進事業 神奈川県マグカル展開促進補助金対象事業	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	646
10月8日	日			692
10月10日	火	令和5年度 第3回推薦演奏会	ユリホール	222
10月17日	火	第21回学長賞声楽コンクール 予選 (学内関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	—
10月24日	火	第21回学長賞声楽コンクール 本選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	74
10月28日	土	第30回コンチェルト定期演奏会① (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	298

月日	曜日	名称	会場	来場者数
11月9日	木	第1回作曲コンクール	ユリホール	34
11月11日	土	第30回コンチェルト定期演奏会② (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	383
11月14日	火	第12回アンサンブルコンクール(学内関係者のみ)	ユリホール	111
11月16日	木	教員・研究員研究発表③	ユリホール	169
11月25日	土	管弦楽団第42回定期演奏会(レクサス買取分:621)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	958
11月26日	日	第14回音楽大学オーケストラ・フェスティバル (昭和・武蔵野)	ミューザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
12月3日	日	吹奏楽団第37回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	401
12月7日	木	第21回電子オルガン定期演奏会	ユリホール	160
12月16日	土	第48回メサイア	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	800
12月23日	土	短大バレエコース(1, 2年)後期成果発表	スタジオ・リリエ	59
12月24日	日	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演 「リーガリー・ブロード」(2回公演)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①765 ②646
1月28日	日	学部ミュージカルコース(3年)後期成果発表 「Little Shop of Horrors」(2回公演)	スタジオ・リリエ	①155 ②185
2月4日	日	学部バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	437
2月11日	日・祝	大学院修士課程修了オペラ公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	334
2月17日	土	大学院室内楽コンサート	ユリホール	96
2月18日	日	短大バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	400
2月25日	日	学部・短大ジャズコース／ポピュラー音楽コース卒業ライブ	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	396
3月3日	日	航空自衛隊&昭和ウインドシンフォニーキャンパスコンサート ※自衛隊側の都合により延期	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	—
3月16日	土	卒業演奏会 (管打楽器・ピアノ)	ユリホール	168
3月17日	日	卒業演奏会(①ジャズ、ポピュラー音楽、作曲、サウンドプロ デュース、電子オルガン、ミュージカル / ②管・打楽器、 声楽)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①205 ②168
3月19日	火	卒業式奏楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	式典 関係者
3月30日	土	第13回音楽大学フェスティバル・オーケストラ (合同 オーケストラ・合唱団参加)	東京芸術劇場	外部主催
3月31日	日	第11回音楽大学フェスティバル・オーケストラ (合同 オーケストラ・合唱団参加)	ミューザ川崎 シンフォニーホール	外部主催

(2)演奏会(テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ)

2023年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場	来場者数
5月25日	木	第1回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	100
6月8日	木	第2回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	80
6月15日	木	第3回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	92
7月15日	土	第27回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	441
10月19日	木	第4回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	60
10月28日	土	昭和音楽大学 第30回コンチェルト定期演奏会① (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	(298)
11月11日	土	昭和音楽大学 第29回コンチェルト定期演奏会② (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	(383)
12月28日	木	第九演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	1,101
3月9日	土	第28回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	569
8月7日	月	フェスタ・サマーミュージックKAWASAKI2023 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージア川崎 シンフォニーホール	(外部主催)

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場
4月22日	土	アルテリッカしんゆりオープニング公演 藤原歌劇団公演 オペラ《劇場のわがままな歌手たち》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月23日	日	アルテリッカしんゆりオープニング公演 藤原歌劇団公演 オペラ《劇場のわがままな歌手たち》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月13日	土	アルテリッカしんゆり スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月14日	日	アルテリッカしんゆり スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月1日	土	日本オペラ協会 オペラ《夕鶴》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月2日	日	日本オペラ協会 オペラ《夕鶴》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
8月20日	日	第21回日本フルートコンヴェンション in KAWASAKI2023 ファイナル・コンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
9月3日	日	ハーモニーホール座間オペラ公演 オペラ《ラ・ボエーム》	ハーモニーホール座間・大ホール
12月9日	土	スターダンサーズ・バレエ団《くるみ割り人形》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月10日	日	スターダンサーズ・バレエ団《くるみ割り人形》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
1月21日	日	ニューイヤーコンサート 第12回ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」	伊勢原市民文化会館大ホール
3月12日	火	桐光学園高等学校2023年度芸術鑑賞	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

(3)公開講座・提携事業

2023年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場	受講者数
通年	月	ピアノ指導法講座<オンライン講座>3クール×3講座	(オンライン)	109 ※延人数
7月16日	日	大学オペラ公演プレ講座 第1回「《愛の妙薬》原作からオペラへ」	南校舎C511	35
7月23日	日	音楽療法講座 第1回 心を満たす歌・楽器の活動	南校舎C511	28
9月16日	土	教養講座 フランス音楽への誘い 第1回「ドビュッシー第1章」	南校舎C511	37
9月17日	日	大学オペラ公演プレ講座 第2回「《愛の妙薬》の楽しみ方」	南校舎C511	37
9月30日	土	音楽療養特別講座 ストレスと共存してハッピーに～音楽を心のウェルビーイングに役立てる～	南校舎C511	47
10月1日	日	作曲講座 第1回 名曲を形式から楽しむ方法～童謡からオーケストラ作品まで～	南校舎A311	14
10月14日	土	教養講座 フランス音楽への誘い 第2回「ドビュッシー第2章」	南校舎C511	36
10月15日	日	作曲講座 第2回 名曲を形式から楽しむ方法～童謡からオーケストラ作品まで～	南校舎A311	13
11月1日	水	音楽教養講座 「ハインリッヒ・シュッツの生涯と音楽」	ユリホール	20
11月18日	土	教養講座 フランス音楽への誘い 第3回「サティ第1章」	南校舎C511	31
11月19日	日	教養講座 第1回 モーツァルトのお話し～人との関わりとその作品～	北校舎5階 ラ・サーラ ・スカラ	38
11月19日	日	音楽療法講座 第2回 楽器をひいてみたいシニアのための『手の体操&脳トレ』の方法	南校舎C511	25
11月29日	水	歌曲研究所歌唱研究会 「ハインリッヒ・シュッツの生涯と音楽」講義と公開レッスン	ユリホール	28
12月2日	土	教養講座 フランス音楽への誘い 第4回「サティ第2章」	南校舎C511	36
12月10日	日	教養講座 第2回 モーツァルトのお話し～人との関わりとその作品～	北校舎5階 ラ・サーラ ・スカラ	23
12月11日	月	教養講座 サイレント映画と音楽の出会い	ユリホール	25
12月21日	木	教養講座 J.S.バッハの装飾・弓使い	ユリホール	68
2月18日	日	音楽教養講座 《ヴィオラ・ダ・ガンバ》のワークショップ	南校舎C511	44
3月10日	日	音楽療法講座 第3回 心を満たし脳を鍛える	南校舎C511	27
10月20日	金	オンライン講座(各1コマ) 「実演舞台芸術のこれからの姿と社会実装」中級編【全4回】(Aコース)	オンライン	31

11月8日	水	(1)「コロナ禍で起きたライブ・エンタテインメントの進化【Aコース第1回】 (2)「舞台空間のつくり方」【Aコース第2回】 (3)「芸術活動をデジタルで記録する ～音楽活動のアーカイブ制作の実例から～」【Aコース第3回】 (4)「実演舞台芸術における音響デザイン先進事例 ～びわ湖ホール・ワーグナーオペラでの挑戦【Aコース第4回】	オンライン	31
11月30日	木		オンライン	31
12月6日	水	同時双方向型／録画配信型	オンライン	31
8月28日	月	実演部隊芸術の制作過程におけるオンライン導入 ～オペラ《愛の妙薬》のオンライン演出事例研究(Bコース)	オンライン	32
10月1日	日	I オンライン見学生配信(講師によるレクチャー付き)同時双方向型 ①リモートによる立ち稽古 ②リモートによる立ち稽古 ③ゲネプロ見学 II オンライン講座「制作スタッフが学ぶ～オンラインによるオペラ演出」	オンライン	32
10月6日	金		オンライン	32
12月12日	火	同時双方型／録画配信型	オンライン	32

<共催>

月日	曜日	名称	会場	受講者数
認定NPO法人かわさき市民アカデミー				
5月～7月	火	「モーツァルトのオペラ～セリアとジंकシュピール」 5/9(95)・23(88), 6/13(95)・20(93)・27(92), 7/11(93)	ユリホール	556 ※延人数
10月～12月	火	「ヴェルディとプッチーニ(名作オペラを深掘する)」 10/3(92)・17(87), 11/7(82), 12/5(79)・19(84), 1/23(87)	ユリホール	511 ※延人数
株式会社 プレルーディオ				
通年	-	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会(全6回) 5/25(154), 7/7(146), 9/11(155), 11/20(177), 1/29(217), 3/14(173)	ユリホール	1022 ※延人数
10月1日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.29	ユリホール	100
3月2日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.30	ユリホール	90

<提携事業>

新冠町提携事業(新冠町／北海道)	
1. 音楽団体演奏クリニック (対面開催) 2. 新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート	
中札内アートの村づくり推進事業(中札内村／北海道)	
子どもアートプロジェクト (音楽の授業サポート・部活動指導補助・演奏活動等)	

3. 研究所関係

(1)オペラ研究所

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

【2023 年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学客員教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

小畑 恒夫 昭和音楽大学客員教授

袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託職員

●2023 年度活動内容

1.日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

2.『日本のオペラ年鑑 2022』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2022』を編纂・刊行した。本事業は平成 8 年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁補助事業「令和 5 年度大学における文化芸術推進事業」の一環として本学が受託した。

【編纂委員(五十音順、敬称略)】

石田 麻子:昭和音楽大学オペラ研究所所長・教授〔編纂委員長〕

江藤 光紀:筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫:昭和音楽大学客員教授

関根 礼子:音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団 理事

堀内 修:音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子:神戸大学大学院教授

3. オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(平成 24～28 年度)により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

4. 連続公開講座「市民オペラの 50 年」の開催

連続公開講座「市民オペラの 50 年」講座1「芸術×市民：70 年代日本の文化形成」を、以下の内容にて舞台芸術政策研究所とともに主催した。

日 時 2023 年 11 月 13 日(月) 18:00～20:00 オンライン(無料)

会 場 オンラインのみでの開催(Zoom を使用)

参 加 費 無料(事前申込制)

基調講演 吉見俊哉(國學院大學教授)

討 論 者 辻英史(法政大学教授)

モデレーター 石田麻子(昭和音楽大学教授)

パネル・ディスカッション 吉見俊哉、辻英史、石田麻子

主 催 昭和音楽大学舞台政策研究所/オペラ研究所

共 催 (公財)藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課

協 力 集英社

なお、講座2「市民オペラとはなにか」は、主催：(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化事業課、共催：舞台芸術政策研究所として 11 月 17 日(金)に実施された。

5. 新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書を今年度も更新した。

(2) バレエ研究所

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。国内外におけるバレエ教育やバレエ界の状況等について調査・研究を行うことが目的である。

【2023 年度研究員】

所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部教授

研究員

岩部 純子 昭和音楽大学専任講師

尾崎 瑠衣 昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

勝川 史憲 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター教授

昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

杉本 亮子 昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師

長野 由紀	昭和音楽大学・短期大学部客員教授
バレエ研究所アドバイザー(五十音順)	
石井 清子	東京シティ・バレエ団評議員
海野 敏	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授
	舞踊評論家

●2023 年度活動内容

1. デジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営とデータ拡充

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(2015 年度～2019 年度)でバレエ研究所が構築した、日本におけるバレエ公演のデジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営を継続して行った。データを拡充するほか、ページの改修やデータ出力機能の追加等を行い、サイト機能の向上を図った。

2. 日本バレエ団連盟が行う文化庁事業「新進バレエダンサー・運営スタッフの育成、並びにバレエ団運営基盤整備および次世代の観客育成に向けた調査」の再委託

バレエ研究所は日本バレエ団連盟より調査・研究等を委託され、令和 5 年 5 月から令和 6 年 3 月まで以下のプロジェクトを行い、報告書を執筆した。

(1)「海外実演団体運営状況調査」

海外のバレエ団や芸術団体の運営状況に関する情報を収集し、日本バレエ団連盟加盟の各団体スタッフらに提供した。海外メディアでの報道を基に、海外バレエ団の抱える課題やその対応などを調査し、1,800 字程度にして隔週で送信するものである。

(2)「デジタル通じた次世代観客の育成」(バレエ公演情報のデジタル化)

日本におけるバレエ公演の状況調査・データ整備を行った。加盟団体等から過去に開催されたバレエ公演プログラムの寄贈を受け、各公演の詳細をデータ化した。本年度は、636 件の公演をデータ化した。

(3)「観客育成に向けたオンライン調査」(全国のバレエ観客層・潜在観客層を対象としたオンライン調査)

今後の全国のバレエ観客育成に向けた方策検討の指針とすることを目的として、バレエに親しんでいる観客だけでなく、バレエに関心はあるがバレエ公演には来場したことのない潜在的な観客も対象としたオンライン調査を実施した。バレエに対する生活者の意識を数値化したことから、今後のバレエ界からの情報発信の可能性を示すことができた。

(4)「全国バレエ教室のデータ整備」

将来的なバレエ教室とバレエ団の連携、また効率的なバレエダンサー育成を目的として、日本におけるバレエ教室の実態把握のための基礎データ整備を行った。

(3)舞台芸術政策研究所

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成 25 年 1 月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

【2023 年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員

仁科 岡彦 昭和音楽大学客員教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

韭澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託職員

●2023 年度活動内容

1.FACP2023 大会への出席

期日:2023 年 11 月 23 日(木・祝)～11 月 26 日(日)

会場:台湾・高雄市

FACP(Federation for Asian Cultural Promotion・アジア芸術文化交流促進連盟)による年次国際会議「実演舞台芸術の将来」に、石田麻子所長ならびに家安勝利参与が出席した。

2.日本音楽芸術マネジメント学会の運営

(1)第 15 回夏の研究会(※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約 30 名)

テーマ《北のまちの芸術文化》

日 程:一日目:2023 年 7 月 28 日(金)北海道の芸術文化施設見学

二日目:2023 年 7 月 29 日(土)事例セミナー

会 場:札幌市民交流プラザ

講 演:「札幌市民交流プラザの取り組みと事業戦略について」

高橋秀典 札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー

[コメンテーター]

中川俊宏 武蔵野音楽大学特任教授／JaSMAM 副理事長 (いずれも敬称略)

(2)第 16 回冬の研究大会(※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約 100 名)

日 時:2024 年 2 月 17 日(土)9:00～18:15

会 場:昭和音楽大学南校舎

9:00 ～14:50 研究発表 5 本、現場レポート 1 本、パネルディスカッション 3 本

15:00～18:15 シンポジウム

《アートマネジメント人材の専門性を保証する～魅力ある職業として～》

基調講演「文化庁における劇場・音楽堂等への支援施策について」

堀内 威志 文化庁企画調整課 課長補佐

現場報告

岸 正人 (公社)全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長

別府 一樹 (公財)日本フィルハーモニー交響楽団 理事長室長/東北の夢プロジェクト・リーダー/東京藝術大学 非常勤講師

パネルディスカッション

パネリスト 石田 麻子 JaSMAM 理事長/昭和音楽大学 教授・学長補佐

岸 正人

別府 一樹

堀内 威志

モデレーター 中川 俊宏 武蔵野音楽大学教授・アートマネジメントコース長 /JaSMAM 副理事長

(3)学会誌・会報の発刊

学会の刊行物の編集作業を担い、学会誌『音楽芸術マネジメント第 15 号』を 3 月に、学会会報 30 号・31 号を 6 月・1 月に刊行した。

3.連続公開講座「市民オペラの 50 年」の開催

連続公開講座「市民オペラの 50 年」講座1「芸術×市民:70 年代日本の文化形成」を、以下の内容にてオペラ研究所とともに主催した。

日 時 2023 年 11 月 13 日(月) 18:00~20:00 オンライン(無料)

会 場 オンラインのみでの開催(Zoom を使用)

参 加 費 無料(事前申込制)

基調講演 吉見俊哉(國學院大學教授)

討 論 者 辻英史(法政大学教授)

モデレーター 石田麻子(昭和音楽大学教授)

パネル・ディスカッション 吉見俊哉、辻英史、石田麻子

主 催 昭和音楽大学舞台政策研究所/オペラ研究所

共 催 (公財)藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課

協 力 集英社

なお、講座2「市民オペラとはなにか」は、主催:(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化事業課により 11 月 17 日(金)に実施され、当研究所も共催で参加した。

(4) 歌曲研究所

昭和音楽大学歌曲研究所は、歌曲資料の収集及び演奏法の研究を目的とする。

【2023 年度研究員】

所長

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

研究員

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

酒巻 和子 昭和音楽大学教授、音楽研究科長

中村 佳子 昭和音楽大学短期大学部教授

的場 辰朗 昭和音楽大学教授、音楽学部長

柴山 昌宣 昭和音楽大学教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

廣田 美穂 昭和音楽大学短期大学部准教授

藤原 海考 昭和音楽大学短期大学部准教授

●2023 年度活動内容

1. 歌曲研究会

(1) イタリア語唱法研究部会研究会

名 称:「ハインリッヒ・シュッツの生涯と音楽」～ドイツ音楽の祖と称される作曲家～

日 時:2023 年 11 月 29 日(水)18 時 30 分～20 時 00 分

場 所:南校舎 5 階ユリホール(両日共通)

講 師:上杉清仁氏(本学非常勤講師)樽谷 学氏(外部講師/チェンバロ奏者)

内 容:ドイツ音楽の祖と称される作曲家であるハインリッヒ・シュッツの生涯とその音楽に焦点をあて掘り下げた。この研究会では、教職員や学生、レスナーおよび地域で歌を学んでいる方等を対象に歌唱アドバイス等を行った。

公開レッスン:浜田 侑里(大学院音楽研究科修士課程 2 年)

田村 裕真(大学院音楽研究科修士課程 2 年)

演奏協力:村川 悠佳(大学院音楽研究科修士課程 2 年)

(2) 日本語唱法研究部会

2022 年度実施して、非常に好評だった塚田佳男氏(伴奏ピアニスト/外部講師)の講座を 3 月に開講する予定だったが、塚田氏のご体調とスケジュール調整の関係で開講を見送った。

2. 高校生のためのコンクール

平成12年度から実行委員会形式で開催してきた高校生のための歌曲コンクールは、平成15年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。

今年度は、「第 24 回高校生のための歌曲コンクール」「第 2 回高校生のためのミュージカル歌唱コンクール」の 2 つのコンクールを開催した。

(1) 過去の参加者数(高校生のための歌曲コンクール)

平成 12 年度(第 1 回)	198 名	平成 13 年度(第 2 回)	249 名
平成 14 年度(第 3 回)	259 名	平成 15 年度(第 4 回)	258 名
平成 16 年度(第 5 回)	248 名	平成 17 年度(第 6 回)	258 名

平成 18 年度(第 7 回)	240 名	平成 19 年度(第 8 回)	199 名
平成 20 年度(第 9 回)	172 名	平成 21 年度(第 10 回)	179 名
平成 22 年度(第 11 回)	151 名	平成 23 年度(第 12 回)	203 名
平成 24 年度(第 13 回)	231 名	平成 25 年度(第 14 回)	224 名
平成 26 年度(第 15 回)	193 名	平成 27 年度(第 16 回)	174 名
平成 28 年度(第 17 回)	189 名	平成 29 年度(第 18 回)	204 名
平成 30 年度(第 19 回)	205 名	令和元年度(第 20 回)	216 名
令和 2 年度(第 21 回)	127 名	令和 3 年度(第 22 回)	178 名
令和 4 年度(第 23 回)	97 名		

(2)令和 5 年度(第 24 回)実施概要

・第 24 回高校生のための歌曲コンクール

①予選《対面審査》

日 程:2023 年 5 月 6 日(土)～5 月 28 日(日)

方 法:予選審査曲(イタリア歌曲 1 曲)

会 場:仙台・新百合ヶ丘・名古屋・岡山・福岡の 5 会場

参 加:84 名

審査員:声楽の本学教員

②本選《対面審査》

日 程:2023 年 7 月 30 日(日)

審 査:イタリア歌曲・日本歌曲より任意の歌曲計 2 曲による審査

会 場:テアトロ・ジューリオ・ショウワ

参加者:42 名

審査員:五十嵐麻利江 井ノ上了吏 川越塔子 柴山昌宣 鈴木とも恵 中村佳子 廣田美穂
藤原海考 的場辰朗 三浦活次 (五十音順・敬称略)

表 彰:優秀賞 5 名／奨励賞 13 名

・第 2 回高校生のためのミュージカル歌唱コンクール

①予選《ビデオ審査》

日 程:2023 年 7 月 20 日(木)

方 法:自由曲 1 曲を歌唱する場면을収録したビデオによる審査

会 場:南校舎 A311・A316 教室 (ビデオ審査)

応 募:22 名

審査員:ミュージカルヴォーカルの本学教員

②本選 《対面審査》

日 程:2023 年 9 月 3 日(日)

審 査:自由曲・課題曲の計 2 曲(以下のミュージカル作品の中から任意の 1 曲)

(課題曲)回転木馬、キス・ミー・ケイト、南太平洋、ガイズ&ドールズ、マイ・フェア・レディ、
ウェスト・サイド物語、ラ・マンチャの男、ザ・ミュージック・マン、サウンド・オブ・ミ
ュージック、ファンタスティックス、ハロー・ドーリー、屋根の上のヴァイオリン弾き

会 場:テアトロ・ジューリオ・ショウワ

参加者:11 名

審査員:赤星啓子 井上智恵 佐渡寧子 萩原かおり 秦貴美子 (五十音順・敬称略)

表 彰:優秀賞 3 名／奨励賞 3 名

(5)アートマネジメント研究所

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の2つの部門で活動している。

【2023 年度研究員】

所長

古橋 祐 昭和音楽大学教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

中尾 友彰 昭和音楽大学准教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

武濤 京子 昭和音楽大学客員教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学客員教授

菰澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

森川 卓夫 昭和音楽大学客員教授

布目 藍人 昭和音楽大学非常勤講師

●2023 年度活動内容

1.アートマネジメント研究部会

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究会・研究発表を行っている。2023 年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No.17」を発行した。また、昨年度に引き続き、博士課程の学生による研究発表も行われた。

(1)研究会・研究発表・意見交換会の実施

研究会：対面(部会会議室)での開催

- ・第1回：令和5年5月10日(水)12:15～12:45 2023年度の活動等
- ・第2回：令和5年7月12日(水)12:15～12:45 音楽芸術運営研究の要綱等
- ・第3回：令和5年9月13日(水)12:15～12:45 研究発表(下記(2)に記載)
- ・第4回：令和5年11月29日(水)16:30～19:00 意見交換会(下記(3)に記載)
- ・第5回：令和6年1月17日(水)12:15～12:45 音楽芸術運営研究の査読等

(2)研究発表：対面(部会会議室)での開催

- ・令和5年9月13日(水)12:15～12:45

〔現場報告〕「中国オーケストラ・フォーラムについて」

(3)意見交換会：韓国総合芸術大学との意見交換会

- ・令和5年11月29日(水)16:30～19:00 第2会議室

参加者：韓国総合芸術大学

チョン・スファン教授(学務長・大学院主任教授、アートマネジメント)

ホン・スンチャン教授(アートマネジメント)

昭和音楽大学

下八川 公祐副理事長、江口 文子副学長

石田 麻子教授、酒井 健太郎准教授、吉原 潤准教授、中尾 友彰准教授、
武濤 京子客員教授、森川 卓夫客員教授

(4)「音楽芸術運営研究 No.17」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No.17」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配布した。

2.コミュニケーションセンター

昭和音楽大学コミュニケーションセンター(SCC)は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成 18 年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代 GP)に選定され、平成 20 年度より正規授業としてカリキュラム化され(科目名「音楽活動研究①②③④」)、平成 23 年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCC では、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

(1)「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究①②③」の授業の全般的運営(④は履修者がおらず開講せず)
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施(下記(4)に記載)

(2)演奏指導活動派遣 (活動数:演奏活動 5 事業7回、教育指導活動 2 事業 4 回)

- ・川崎市立王禅寺中央小学校(計 2 回 木管五重奏、金管五重奏)
- ・神奈川県立麻生支援学校 高等部(打楽器アンサンブル/C103 にて開催)
- ・川崎市教育委員会事業 2 事業 4 回(下記(3)に記載)
- ・麻生区役所連携事業 1 事業(下記(4)に記載)
- ・麻生老人福祉センター事業 1 事業(木管五重奏、声楽アンサンブル)
- ・公益財団法人厚木市文化振興財団連携事業「0 歳からのコンサート」
1 事業 2 回(声楽アンサンブル)

(3)川崎市教育委員会事業:2 事業

- ・「2023 年度ジュニア音楽リーダー育成事業」吹奏楽指導
日 時: 令和 5 年 6 月 18 日(日)、10 月 1 日(日)
会 場: 昭和音楽大学 南校舎 教室 等
- ・「ヤングかわさきジョイフルバンド」吹奏楽指導
日 時: 令和 5 年 12 月 24 日(日)、令和 6 年 1 月 7 日(日)
会 場: 川崎市幸市民館(12 月 24 日)、宮前市民館(1 月 7 日)

(4)麻生区役所 地域みまもり支援センターとの連携事業:1 事業

- ・「音楽の贈り物～光と音楽の魔法～」
日 時: 令和 5 年 12 月 2 日(土)15:00～17:00
場 所: 昭和音楽大学 南校舎1階 C101 スタジオブリオ、他

(6)音楽療法研究所

音楽療法研究所は、音楽療法に関する領域の研究および関連分野の研究を目的とする。

音楽療法研究所は、年間テーマは昨年度から引き続き、「新しい生活様式を踏まえた音楽療法」とし、講師を招いて研究会を開催した。音楽療法ディベロップメントの人材開発事業としては、卒業年次の異なる卒業生を招いてシンポジウムを開催した。さらに、音楽療法アーカイブ事業では、研究会講師にインタビューをおこなった。教材開発事業として、学生が音楽療法活動のために作曲した曲集作成に向け、楽譜を収集した。

また、研究所紀要として 2011 年度から発行してきた「音楽療法研究」は、2023 年度において第 13 号となった。

【2023 年度研究員】

所長

羽石 英里 昭和音楽大学教授／日本音楽療法学会代議員

研究員

萩原 かおり 昭和音楽大学教授

二俣 泉 昭和音楽大学教授／日本音楽療法学会副理事長

白川 ゆう子 昭和音楽大学専任講師／日本音楽療法学会代議員

伊藤 啓子 昭和音楽大学客員教授

青木 久美 日本音楽療法学会認定音楽療法士

今村 ゆかり 昭和音楽大学非常勤講師／日本音楽療法学会常任理事

大山 祥子 昭和音楽大学非常勤講師／日本音楽療法学会代議員

杵鞭 広美 桐朋学園大学教授／昭和音楽大学非常勤講師

小柳 玲子 昭和音楽大学非常勤講師／日本音楽療法学会代議員

田原 ゆみ 昭和音楽大学非常勤講師

三浦 優佳 昭和音楽大学非常勤講師

アドバイザー

松井 紀和 昭和音楽大学客員教授／日本臨床心理研究所所長／精神科医師

村林 信行 昭和音楽大学客員教授／日本音楽療法学会常任理事／精神科医師

●2023 年度活動内容

2023 年度は、テーマを「インクルーシブな社会と音楽療法」とし、以下の 1.～4.にわたる事業をおこなった。また、2023 年度は、博士後期課程 2 年在籍の木村仁美、鈴木裕也の 2 名が研究活動の補助を行った。

1. 講習会の開催

日本音楽療法学会認定音楽療法士を対象に、「パーキンソン病のための歌による音楽療法ボイスプログラム(MTVP)インストラクター養成講座」を 2 日間にわたって実施した。

【1 日目】10 月 28 日(土)

担当：羽石 英里(音楽療法研究所所長、教授)

井上 美緒(本学卒業生、作業療法士、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

10:30-12:00 イントロダクション 呼吸・発声・嚥下のメカニズム

13:00-14:30 発声とからだ

14:40-16:10 音楽療法ボイスプログラムの理論的背景

【2日目】10月29日(日)

担当：羽石 英里(音楽療法研究所所長、教授)

深野 広美(元本学非常勤講師、日本音楽療法学会認定音楽療法士)

9:00-10:30 音楽療法ボイスプログラムの実際

10:40-12:10 活動プログラムの考案と発表

13:00-14:30 受講者と患者ボランティア(体調によっては不参加の場合有り)との対面セッション

14:30-15:00 まとめ 修了証授与

2.研究所主催研究会の開催

(1)研究会(映画上映、シンポジウム)

日時会場：2023年11月26日(日)13:00～17:00 C511 教室

対 象：音楽療法研究所研究員、音楽療法コース学部生、大学院生

テ ー マ：「重度の自閉症・知的障害者の支援者との地域における自立生活」

【Ⅰ部】映画「道草」(穴戸大裕監督) 当事者出演のドキュメンタリー映画を上映した。

【Ⅱ部】シンポジウム「暮らしの場を限られてきた人たちが『はみ出していく』」

パネリスト：岡部耕典(早稲田大学文化構想学部教授)

高畑敦子(本学非常勤講師)

羽石英里(音楽療法研究所所長、教授)

3.音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

2023年度で発行13年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した他、前述の研究会講師に依頼した原稿を特集として掲載した。

4.「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

(1)人材開発 キャリア支援講座

音楽療法コース4年生と大学院修士課程2年生のうち日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)資格試験および日本音楽療法学会認定音楽療法士資格試験(実技・面接)を受験する学生をメインの対象とした対策講座をおこなった。

(2)教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲(歴代のもの)曲集としてまとめて形に残すことを目的とし、昨年度に引き続き作業をおこなった。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化(楽譜作成)をおこなった。

(3)音楽療法アーカイブ

過去のインタビューの音声データを文字起こした。

(7)音楽教育研究所

研究所は、幼児教育(導入期)から大学等における音楽専門教育及び関連領域について、特に鍵盤楽器及びソルフェージュに関し国際的視野に立って調査研究することを目的とする。

【2023 年度研究員】

所長

江口 文子 昭和音楽大学教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

川染 雅嗣 昭和音楽大学教授

林田 枝実 昭和音楽大学教授

鈴木 二美枝 昭和音楽大学短期大学部教授

飯田 佐恵 昭和音楽大学准教授

石川 亮子 昭和音楽大学准教授

豊住 竜志 昭和音楽大学准教授

森 篤史 昭和音楽大学短期大学部准教授

奥村 晃博 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

林 眞砂子 昭和音楽大学非常勤講師

益田 トッシュ 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学非常勤講師

角南 篤 昭和音楽大学音楽教育研究所特別研究員

●2023 年度の実施内容

1.推薦音楽会

附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。令和5年度に関しては2月25日に開催、オーディションに参加した38名のうち、35名が出演した。

2.特別レッスン」

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校2年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により特別レッスンを受講した。

主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニックスの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように大学生に還元していくのかを検討している。

令和5年度における受講者は9名(ピアノ7名、ヴァイオリン2名)であった。

(8)ピリオド音楽研究所

ピリオド音楽研究所は、ピリオド音楽およびピリオド演奏の研究を目的とする。

【2023 年度研究員】

所長

有田 栄 昭和音楽大学教授

研究員

築瀬 進 昭和音楽大学・短期大学部 学長

藤田 真頼 昭和音楽大学准教授

森田 学 昭和音楽大学准教授

黒田 隆 昭和音楽大学客員教授

上杉 清仁 昭和音楽大学非常勤講師

菊池 奏絵 昭和音楽大学非常勤講師

島根 朋史 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学非常勤講師

宮村 和宏 昭和音楽大学非常勤講師

客員研究員

有田 正弘

●2023 年度実績

・2023 年 10 月 13 日(金)18:30 ユリホール

第 29 回公開講座『ベートーヴェン、エロイカ』

内 容:1803-4 年、ベートーヴェンは《エロイカ》交響曲を中心に、三重協奏曲、クロイツェル、ワルトシュタインなどの傑作を作曲している。これらの一連の作品が一気に作曲されたのは何故か?《エロイカ》交響曲の自筆譜から読み取れるものを考える。

講 師:有田 正弘(客員研究員)、司会:有田 栄(研究所所長)

演 奏:ヴァイオリン/小森谷 巧(教授)、ピアノ/南部 麻里(非常勤講師)

受講料:一般:1,500 円 学生 1,000 円 ゆりフレンズ(一般)10%割引

※ 小～高校生、本学学生・教職員は無料

入場者数:96 名(うち有料[一般]:33 名、[学生]:7 名/無料[教職員]59 名)

4. 事業運営部関係

(1) 附属音楽・バレエ教室

幼児(2歳)から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を展開している。教室は新百合ヶ丘校(大学内)、小田原校、センター北校、海老名校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校の8校。2024年3月時点において約3,500名が在籍している。

音楽の各分野では、幼児音楽教育やソルフェージュ、実技個人レッスン(ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲、ポピュラー音楽、ジャズピアノ等)をはじめ、鍵盤楽器他のアンサンブル(文化箏、二胡、ウクレレ、ギター、弦楽)や連弾、大人を対象にしたグループヴォーカル(ヴォーカルトレーニング、ウェイクアップヴォーカル、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、爽快ベルカント、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、日本語で歌おう世界の名曲、楽しくオペラを歌おう、歌声サロン、発声から始める歌謡曲)を開講しており、舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ミュージカルヴォーカル、ジャズダンス、キッズダンス等を開講している。

また、教養講座としてイタリア語コースや朗読サロンコース、音楽療法分野として、支援が必要な方のための音楽コースを開講している。令和5(2023)年度には、新たにドイツリートのクラスを開講するとともに、JR線・小田急線・相鉄線「海老名」駅より徒歩一分の立地にある「海老名 ViNA GARDENS PERCH」に海老名校を開校した。

また、仙台校を、従来より仙台駅に近い立地にリニューアル移転した。

(2) パスウェイズ

Pathways(パスウェイズ)は、音大受験を志す中・高生を対象に、大学・短大の講師による継続的なレッスンを特長とする受験対策スクールであり、2022年9月に開講し、2023年度より事業運営部の下にパスウェイズ運営室が開設され、運営および入室生募集活動を担っている。

2023年度中の年間を通じた募集活動としては、無料体験レッスンを随時実施するとともに、パスウェイズの説明会・相談会を、定期的なオープンキャンパスや受験講習会の中で同日開催し、あわせて夏期講習会期間中の2023年8月5日には、在籍生による試奏会をユリホールにて開催し、在籍生のレベルアップを目指すと同時に、講習会参加者へのパスウェイズの広報を行った。

また2023年度より新たに個人レッスンに加えてグループレッスン(楽典、ソルフェージュ、ミュージカルダンス)を開設し、更に在籍生への入学金減免制度の適用や、大学施設の無料利用、大学主催公演の無料招待等の在籍生特典を開始し、募集の強化を図った。

2023年度末時点においては約110名の生徒が在籍し、また在籍生から2024年度入試には学部、短大、大学院、研究生等あわせて延べ83名が出願し、うち入学手続き者は65名と、いずれも前年度を上回る実績となった。

(3)附属ピアノアートアカデミー

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。2023 年度時点では小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・同短期大学部において学修機会を得たい学生の増加やその質の向上に寄与している。

2022 年度の快挙(第 12 ダブリン国際ピアノコンクールで黒木雪音が第1位(日本人初)、古海行子が第2位(日本人初)、リストユトレヒト 2022 で黒木雪音が第1位、2023 年 1 月、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA プロフェッショナル部門で吉原佳奈が金賞及び NIFC(ポーランド国立ショパン研究所)賞受賞、第 17 回アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクールで黒木雪音第3位及び古典派協奏曲賞を受賞)に引き続き、2023 年度においては、4 月第 2 回ショパン国際ピリオド楽器コンクールにて鎌田紗綾が日本人唯一第2次に選ばれセミファイナリストに、8 月第 47 回 ピティナ・ピアノコンペティション全国大会特級において三井柚乃が銀賞を受賞、F 級において岩船謙惺が銀賞を受賞、2024 年 1 月、第 25 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会プロフェッショナル部門にて鎌田紗綾が金賞及び NIFC(ポーランド国立ショパン研究所)賞を受賞、中学生部門にて米田彩乃が銀賞を受賞等、コンクールでの実績も多く充実した活動を行うことが出来た。

在籍生による国内各地や海外でのコンサート出演やメディア出演も多く国内外で注目された。

●2023 年度の主な活動内容

- ・特別演奏コース：定期的に個人レッスン、ソルフェージュクラス、海外講師によるレッスンを実施した。
- ・総合コース：月 1 回のレッスンやクラス授業を実施した。小学生～高校生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養を養うためのクラスのほか、3 月には成果発表会も開催した。
- ・研究コース：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援を行った。
- ・ピアノとアンサンブルのマスタークラス：2024 年 3 月 25 日～26 日に開催。ピアノ及び室内楽のマスタークラスを実施した。
- ・プレビュー・アカデミー：2023 年 12 月 26～27 日の 2 日間、小学2年生～高校2年生を対象に開催。ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶ音楽講座、成果発表の場として学内のユリホールでの成果発表コンサートを実施。全国各地から受講生が来場した。
- ・黒木雪音ピアノ・リサイタル：2023 年 5 月 12 日紀尾井ホール(東京)、5 月 19 日宮城野区文化センター(仙台)、2024 年 3 月 27 日に紀尾井ホール(東京)にて開催。
- ・2023 年度における在籍者のコンサート出演：
国内各地及び海外での公演など、在籍者のコンサートへの出演は 40 回を超えている。主な出演内容については次の通り。

2023 年

- | | |
|------|--|
| 4 月 | 黒木雪音コンサートツアー@イスラエル(10 公演) |
| 5/5 | 東京交響楽団～爽やかグリーンコンサート～ 小林研一郎指揮 黒木雪音 |
| 5/12 | 黒木雪音ピアノ・リサイタル@紀尾井ホール |
| 7/29 | フェスタサマーミュージア KAWASAKI 出張サマーミュージア@しんゆり
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 熊倉優宇指揮 古海行子 |

7/22	Wonderfeel Festival(オランダ)黒木雪音
7/26	Aurora Festival(オランダ)黒木雪音
8/11	ドュシニキ国際音楽祭(ポーランド) 黒木雪音ピアノ・リサイタル
8 月	黒木雪音イタリアツアー
8/26	ショパン生家(ポーランド・ジェラゾヴァヴォラ)でのピアノリサイタル 吉原佳奈
9/9	未来の音シリーズ vol.36 古海行子<ピアノ>@めぐろパーシモンホール
9/23	ベートーヴェンピアノフェスティバル@すばるホール 吉原佳奈
10/8	ファツィオリジャパン 15 周年記念コンサート黒木雪音ピアノ・リサイタル@豊洲シビックセンターホール
10 月	黒木雪音オランダ公演
11 月	黒木雪音ヨーロッパ・ツアー(オーストリア、リトアニア、ポーランド)
11/15	第 4 回日本ベトナムピアノフェスティバル 2023@カワイ表参道 吉原佳奈
11/16	第 4 回日本ベトナムピアノフェスティバル 2023 ベトナムとの友好コンサート@横浜市磯子区民文化センター杉田劇場 吉原佳奈
11/28	ヴィリニウス・ピアノ・フェスティバル(リトアニア) 黒木雪音ピアノ・リサイタル
12/3	古海行子ピアノ・リサイタル@ザ・フェニックスホール
12/9	古海行子ピアノ・リサイタル@リーデンローズ小ホール
12/10	浜松市文化振興財団 アクト・ニューアーティスト・シリーズ No.141 黒木雪音 ピアノ・リサイタル@アクトシティ浜松 音楽工房ホール
12/15	第 47 回ピティナ・ピアノコンペティション特級入賞者スペシャルコンサート@ スタインウェイ&サンズ東京 三井柚乃
12/20	古海行子ピアノ・リサイタル@相模女子大学グリーンホール
2024 年	
1/13	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 第 366 定期演奏会 沖澤のどか指揮 黒 木雪音 @東京オペラシティコンサートホール
1/20	古海行子ピアノ・リサイタル@宗次ホール
1/24	2024 都民芸術フェスティバル@東京芸術劇場 新日本フィルハーモニー交響楽団 澤村杏太郎指揮 古海行子
1/27	黒木雪音ピアノ・リサイタル@コンセルトヘボウ(オランダ)
1/28	古海行子ピアノ・リサイタル@浜離宮朝日ホール
2 月	黒木雪音ヨーロッパ・ツアー(ドイツ、イタリア、オランダ、アイルランド)
2/25	特級ガラコンサート 2023「一輪の薔薇が咲いて」@J:COM 浦安音楽ホール 三井柚乃
3/9	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ第 28 回定期演奏会 柴田真耶指揮 黒木雪音
3/10	能登半島地震一支援チャリティーコンサート出演
3/23	古海行子ピアノ・リサイタル@焼津文化会館大ホール
3/27	黒木雪音ピアノ・リサイタル@紀尾井ホール

・2023 年度における在籍生のメディア出演・掲載:

主な出演・掲載内容については次の通り。

2023 年

5/10 時事通信 黒木雪音
5/17 テレビ神奈川 ニュース番組「News Link」黒木雪音密着取材
7/1 月刊ショパン 7月号 表紙と Pianist Special Interview 黒木雪音
9/30 Fm yokohama Piano Winery～響きのクラシック～ 吉原佳奈

2024 年

3/16 高知新聞「心動かすピアニストに」 黒木雪音

・2023 年度における在籍生の CD・配信：

11 月 古海行子『リスト：ピアノ・ソナタ』CD リリース

12 月 黒木雪音『Christmas with Yukine』が配信サイトにてリリース

(4)附属ストリングスアカデミー

附属ストリングスアカデミーは、音楽の本質を学ぶ寺子屋として、弦楽器の技術や表現力の向上のみならず、各々の感性や幅広い視野、好奇心を育むことにも重点を置き、魅力あふれる人間性を身に付けると共に、世界で活躍できる音楽家の育成を目的として、2023 年度より開設された。弦楽器をはじめ子どもから、キャリアアップを志す大人までを中心に、個人レッスン、室内楽、弦楽アンサンブルなど、「実践的な音楽教育」を行っている。2023 年度時点では 5 歳から 66 歳まで、幅広い年齢層の人たちが全国各地から通っており、同じ志を持つもの同士切磋琢磨し合いながら音楽を楽しんでいる。篠崎史紀主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、開設 1 年目にして 20 名もの生徒が在籍している。(年間 3 回のオーディションを実施)

●2023 年度の主な活動内容

1.特別演奏コース：在籍生なし

2.総合コース：月 1～3 回のレッスンを実施した。5 歳～24 歳に対しヴァイオリン個人レッスンを行う他、2 月には成果発表会も開催した。

3.室内楽コース：月 1 回の室内楽レッスンを実施した。その他、2 月には成果発表会も開催した。

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2023年度報告

2024年3月末時点の進捗状況を確認をいたしましたので以下報告いたします。
アクションプラン（以下、AP）全30件（うち1件は他APへ併合）の2022年度末時点の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったAP4件は計画の変更案を作成、これに基づき2023年度は取り組んでいます。
2023年度目標を達成したAPは26件、未達のAPは3件です（前年比1件減）。
なおAP8件は、2022年11月各アクションプランのゴールを100%とした場合

	具体的な取組み事業	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2020	2021	2022	2023	2024	2023年度 進捗	2023年度 目標	2023年度進捗状況確認
プロジェクト① 教育の質の向上											
A 教育課程の改革											
1	カリキュラムの見直し	文理融合科目、STEAM科目、創造性を育成する教育、データサイエンス教育の導入							80%	達成	・創造性育成のための科目を新設、全8回授業を実施した。2023年授業アンケート結果等をふまえ、当該授業科目の次年度の授業展開ならびに発展科目も検討する事とした。 ・第3期作業部会メンバーに新たに教員2名を選出した。また、本アクションプランの主管部署となる作業部会が2023年度をもって解散することとなった為、今後の授業については教育課程委員会にて検討することとし、本アクションプランとしての取組みは終了とした。 ・FD研修会その他の研修会を実施した。
2	アカデミックカレンダーの見直し	アカデミックカレンダーの見直し							100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
B 教育手法の改善											
3	ICT教育の推進	Society 5.0時代の音楽、舞台芸術のための教育・研究環境づくり	①A/B/C棟の1F～6Fに必要な設備備品の設置						100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
4	アクティブラーニングの推進		②電子媒体教材(コンテンツ)の充実と発展						60%	達成	・7月にセメスター制運用の基本方針策定に伴い、本アクションプランの目標も改めて見直す事とした。
5	オンライン学修の推進		③ICTとオンライン教育、アクティブラーニングに活かす授業の一部をカリキュラム化						60%	達成	・7月にセメスター制運用の基本方針策定に伴い、本アクションプランの目標も改めて見直す事とした。
C 学修支援の強化											
6	学生支援センターの設置	学生支援センターの設置							100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
7	練習室の活用	練習室の活用							95%	達成	・新教務システムに練習室の予約機能が付与される事から、当該機能を活用した運用へ変更した。学生支援センターのシステム変更対応は完了、現在は教職員向けの予約システムをテスト稼働中である。検証を引き続き進めていく。
8 ～ 10	施設設備の充実・練習室の活用	施設設備の充実							70%	達成	(本アクションプランは見直しの結果、本年度より複数のアクションを一つに統合) ・新学部設置計画開始に伴い、本学施設の利用方法を再考する必要があるため、南北校舎の大規模修繕の計画は着手せず。 ・南校舎のロビー、図書館、および北校舎の2階・3階の改修計画立案も上述理由により着手せず。 ・大学棟(C棟)全館および講堂棟のガスヒートポンプエアコン室内外機の入替工事が完了。全ての入替工事を3ヶ年計画で、2025年度までに完了する事とした。 ・北校舎の全てのトイレのリニューアル工事が完了し、イメージ向上を図った。 ・構内照明の約80%をLEDへ切り替え、省エネ化を進めた。残り南校舎大学棟のユリホール・非常灯他、講堂棟のダウンライトのLED化の対応を進めていく。 ・電話交換機を入れ替え、校舎間での内線通話を実現し、オートアテンダント機能追加により、業務効率化ならびに受付サービスの向上に貢献した。 ・学生食堂の椅子を新たに入替え、また学生食堂内に給水器1台を設置し学生サービスの向上に貢献した。
D キャリア教育の充実											
11	キャリア教育の充実	キャリア教育の充実							100%	達成	・キャリア科目見直しについて、本年度は1回の招聘卒業生を2名とし、授業内で卒業生を交えたグループワークを取り入れ、履修学生自ら考えたり、自身のキャリアを具体的に描く機会を設定した。なお、9月12日のキャリア委員会で履修者からのアンケート結果を基に見直しを行った。キャリア科目新設についてもキャリア委員会内ワーキンググループにて検討をすすめて行くこととした。 ・キャリア支援講座見直しならびに新設について、キャリア委員会で実施支援講座のアンケート結果を基に検討を進めた。なお、企業就業支援は音楽業界や正社員を中心とした企業のみならず、業務委託など広く働き方を知ってもらう為、裾野を行い実施することとした。 ・海外留学支援への取り組みとして、「留学基礎セミナー」の企画立案・実施した(2023年12月21日開催)。 ・2023年12月にキャリアセンター専用のInstagramアカウントを新規開設。従前の専用Webページと併せて活用する事により、各種講座・企業説明会の情報発信強化に取り組んだ。

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2023年度報告

2024年3月末時点の進捗状況を確認をいたしましたので以下報告いたします。
アクションプラン（以下、AP）全30件（うち1件は他APへ併合）の2022年度末時点の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったAP4件は計画の変更案を作成、これに基づき2023年度は取り組んでいます。
2023年度目標を達成したAPは26件、未達のAPは3件です（前年比1件減）。
なおAP8件は、2022年11月各アクションプランのゴールを100%とした場合

	具体的な取り組み事業	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2020	2021	2022	2023	2024	2023年度 進捗	2023年度 目標	2023年度進捗状況確認
プロジェクト② 成長戦略の推進											
A 学生募集の強化											
12	学生募集の強化	学生募集専用システムの導入、入試制度の見直し、学生募集イベントの充実	①学生募集専用システムの導入						100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
13			②入試制度の見直し						80%	達成	・アドミッション委員会で検証している入試制度について、その検証の基となる入試区分分析に加えて、外部有識者からの意見を踏まえ審議することができたこと、外国人をルーツとする新たな入試制度を構築したことにより、改革総合支援事業の要件に適合することとなった。
14			③学生募集イベントの充実						100%	達成	・2023年度の入学実績として、大学はポップ＆ロックミュージックコースの入学者が昨年度対16名増、ジャズコースは8名増、大学院のジャズ新コースは7名(当初目標5名)と定員確保につながる取り組みとなった。今後も広報活動を継続して行っていく。
B 社会連携、大学間連携の推進											
15	社会連携、大学間連携の推進	社会連携、大学間連携の推進							100%	達成	・地域連携推進室が中心となり、「連携・協力に関する包括協定書」締結先増を実現した。 ・2023年9月7日に、包括協定書締結先3社と本学の「3つのポリシー、教育課程及び学修成果等に対する意見聴取会」を開催、学外有識者から聴取意見を、本学の各種取り組みの見直しに活用する事とした。
C 新たなコース・プログラムの開発											
16	新たなコース・プログラムの開発	大学・短大・大学院の新コースの開発、教育課程外での新しいプログラムの開発	①教育課程内の新コースの検討および運用開始						80%	達成	・新コース「声とことばの創造表現」の運用が決定し、2024年度開設に向けた準備を進めた。
17			②教育課程外の新プログラムの検討および運用開始						80%	達成	・川崎市教育委員会(以下、教育委員会)と協定書を締結し、川崎市内の中学校の部活支援(吹奏楽部)を実施した。教育委員会より、本取り組みを長期的に行うためには指導者養成カリキュラムの導入が必要との提案あり。次年度以降、双方で導入に向け具体的に計画・検討する事となった。 ・本年度実施の「卒業後調査」にて、履修者証明プログラムに係る設問を新規設定し、本学卒業生への認知度や需要(希望の受講期間等)の現状を把握し、調査結果を学内共有した。本学の現行資源を活用の上、本学でのプログラム導入について引き続き検討する事とした。
18			③新コース・プログラムの運用開始						-	-	・2021年度に、アクションプラン16、17に併合した。
19		附属教室の新コース立ち上げ							100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
D 「本学ならではの価値」の明確化											
20	「本学ならではの価値」の明確化	「面倒見の良い大学」の見える化							100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
プロジェクト③ 教職員すべてが能力を発揮できる環境の醸成											
A 人事制度改革											
21	人事制度改革	人事制度改革							50%	未達	・目標管理制度については、情報収集(e-Jinzai for Universityの研修プログラム受講など)に努めつつ、制度設計の道筋を付ける事とした。 ・在宅勤務制度に関する規程案を作成した。 ・基幹教員制度の導入について着手した。 ・職員人事考課制度改正については、2024年度に検討を開始する事とした。 ・専任職員登用制度については、2023年2月に嘱託職員を対象として、登用試験を実施し、4名の方を専任職員として登用することになった。次年度以降もこの試験は毎年度実施する。職員にとっては働き方の選択肢が増えることとなり、それ以外の効果として、嘱託職員を公募する際に専任登用制度がある事により、応募者数増へ繋がった。

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2023年度報告

2024年3月末時点の進捗状況を確認をいたしましたので以下報告いたします。
アクションプラン（以下、AP）全30件（うち1件は他APへ併合）の2022年度末時点の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったAP4件は計画の変更案を作成、これに基づき2023年度は取り組んでいます。
2023年度目標を達成したAPは26件、未達のAPは3件です（前年比1件減）。
なおAP8件は、2022年△各アクションプランのゴールを100%とした場合

	具体的な取り組み事業	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2020	2021	2022	2023	2024	2023年度 進捗	2023年度 目標	2023年度進捗状況確認
B 業務の効率化											
22	業務の効率化	業務の効率化							78%	達成	・4月からの学内アルバイト制度(スチューデント・ジョブ制度)開始に伴い、在学生のアルバイトの勤怠管理、契約書締結、シフト管理にシステム3種を導入し、本制度のペーパーレス運用を推進した(スチューデント・ジョブ制度プロジェクト)。 ・電子契約システム(freeサイン)導入に伴い、学内の関連規程の整備を実施した。 ・事務会議・学園運営委員会以外の会議体でも会議資料のペーパーレス化が普及、想定通りにペーパーレス会議へ移行した。
C 「研究」「研修」時間と機会の拡充											
23	「研究」「研修」時間と機会の拡充	「研究」「研修」時間と機会の拡充							75%	達成	・2023年度SD研修会(9月5日開催、専任教職員が参加)にて、業務効率化のために必要な取り組み等をトピックとして取り上げ周知を行った。 ・新勤怠システムについては、2024年2月より、対職員へ本格稼働を開始した。時間外労働申請について、用紙の勤務表廃止を実現した。今後、教員やアルバイト等も新勤怠システムでの勤怠管理へ移行予定であるが、就業関係申請の部分で新勤怠システムでの運用が困難な点が判明したため、引き続き検証しながら改善検討を進めていく事となった。
プロジェクト④ 安定的な財務基盤の確保、IR(インスティテューショナル・リサーチ)の活用											
A PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し											
24	PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し	収支分析を軸とした、各事業の効果検証							30%	未達	・給与に合算しての旅費交通費振込みにについて、給与システム変更のコストを算出し、2024年度予算に予算化した。 ・旅費交通費の他、個人研究費、私学共済短期給付金などの銀行振込化の検討を進めた。 ・法人個人カード導入については、継続検討を進めた。
25		所有施設のPDCA							25%	未達	・2025年度以降もイタリア研修所を維持する事とした。 ・海外研修のブラッシュアップについて、継続検討を進めた。
26		附属教室の運営効率化							100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。
B IR機能の強化											
27	IR機能の強化	IR機能の強化							100%	達成	・アセスメントプランチェックリストを作成し、IRレポートの活用を明示した。 ・基幹システム変更に伴い、IRデータカタログを更新した。 ・TeamsのSDチームを活用し、IR定型レポート(例:ファクトブック)の専任教職員内の共有が可能となった。
プロジェクト⑤ 組織の活性化											
A ガバナンスの強化											
28	ガバナンスの強化	学内規程の整備と強化							80%	達成	・点検評価委員会ならびに内部質保証委員会にて、点検時点(2022年11月1日から2023年8月31日)のガバナンス・コード遵守項目に対する取り組みの実施状況について点検した。更新後のガバナンス・コードと、各点検結果を本学WEBサイトにて公開した。 ・上述点検結果とともに、点検時期についても見直しを行い、2024年度以降は、前年度3月までの1年間の内容を4月に点検する事とした。
B UD、BD、FD、SDの推進											
29	UD、BD、FD、SDの推進	UD、BD、FD、SDの推進							100%	達成	・2023年7月にe-JINZAI等のオンラインオンデマンド研修の受講ルールを見直し、参加報告書の提出を不要とすることで、研修受講への負担感を減らした。オンラインオンデマンド研修については、新しい計画を策定する際や、業務上理解が不足している場合に、教科書や辞書のように側にある当たり前のものになった。 今後は、これら有用な情報に触れる時間をもっと増やせるように、教職員の働き方についても見直していく必要がある。 ・2023年7月に「学生とのFD意見交換会」を開催し、TA等の学生意見を取り入れたFD運営の検討を進めた。 ・FD委員会ならびにSDプロジェクトにて、現在の社会情勢や、FDSD参加報告書等に記載された本学教職員の要望に沿ったトピック選定を行い、全体研修会で外部講師による講演や、ワークショップ等を複数回開催した(中央大学ダイバーシティセンター、ブレインアカデミー、エンパワメントかながわ)。 ・年2回のFD合同研修会に加え、2024年3月にトピック別FD研修会(専任教員向けFD・大学院FD)を開催し学内FD活動を推進した。 ・2023年12月の理事会・評議員会後、「私立学校法改正」についてBD研修会を実施した。
C 学生の大学運営への参加											
30	学生の大学運営への参加	学生の大学運営への参加							100%	達成	・2022年度に、本アクションプランの取り組みとして100%を達成した。